

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	海外組積造耐震性検討小委員会		主 査 名：花里利一 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 壁式構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：稲井栄一
設 置 期 間	2011 年 4 月～2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的)国内外の各機関による活動とその成果に関する情報と知見の共有化を図りつつ、途上国組積造住宅の地震災害軽減に資する技術資料を作成する。 (活動計画) ・2011 年度～2012 年度 海外災害調査の実施および被害事例、耐震評価法、補強法に関する研究成果の文献調査、各国・国際機関の規準類の収集・整理 ・2013 年度～2014 年度 海外災害調査の実施、技術資料の作成と国際シンポジウムの開催		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：花里利一(三重大学) 幹事：黒木正幸(大分大学) 委員：菊池健児(大分大学)、五十嵐 泉(神奈川大学)、真田靖士(豊橋技術科学大学)、中村友紀子(千葉大学)、松村 晃、崔琬(東京大学)、中川貴文(建築研究所)、箕輪親宏(トモエ技研)、今井 弘(防災科研)、檜府龍雄(JICA)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 (準備中) 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 建築年報 2011 に、昨年度の大会における壁式構造運営委員会 PD『海外組積造建築の地震被害とその対策』の概要を報告した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 海外災害調査および国内機関の研究活動の成果に関して情報を共有化した。 2. 地震被害や補強工法に関して、技術資料に有用な知見やデータの収集を行ったが、計画どおり、2012 年度も継続する。 3. 3.11 東北地方太平洋沖地震による組積造建築物の被害について調査した。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員会の開催数は計画どおり 6 回開催したが、旅費の関係から、他の小委員会やWGと同日に開催している。開催日・時間の調整が難しく、委員の参加人数は必ずしも十分とはいえない。今年度は初年度であるが、委員会活動をさらに活発にするためにも今後工夫が必要であろう。